

(様式1)

2026年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 050	提案機関名 湘南漁業協同組合
要望問題名 地元産アオリイカの販売促進とブランド化について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 当漁協では、数年前から地先海面にアオリイカの産卵礁を設置してアオリイカの増産に努めている。藻場の衰退により磯根資源の減少が続く漁業収入に影響を与えている中で、近年漁獲が伸びているアオリイカの生産・販売を活用して漁業経営の安定化を図りたいと考えている。 現状でもアオリイカは比較的高値で取引されているが、アオリイカ生産の背景にある産卵礁設置や禁漁などの我々の保護活動を一般消費者に理解してもらい、常に地元産のアオリイカを買い求めていただけるような状況を作り出すことで魚価の安定を図りたいと考えており、観光とのタイアップも含め販売促進やブランド化に取り組むためのご支援・ご指導をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画研究部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地对応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	<p>ブランド化には、消費者からの認知と評価が重要であり、もともと市場価格が高いアオリイカにさらなる価値を付加する必要があります。そこで、漁業者が継続して取り組んでいる産卵礁設置や禁漁などの保護活動の情報を付加することでさらなる価格向上を期待できると考えます。そのためには、市場出荷よりも、漁業者のメッセージが消費者に届きやすい直売や飲食店への直接出荷等の販売方法・ルート拡大を足掛かりに、漁業者自らが情報付加を図るよう、指導してまいります。</p> <p>また、三浦半島アオリイカコミュニティとの連携を継続し、釣り具メーカーや意識の高い市民への訴求を介した一般消費者への認知を図るよう、各地の漁業者を指導してまいります。</p> <p>複数地区の漁業者が連携したブランド認知の取組が定着した際には、さらなる消費者からの認知と評価の向上を図るため、神奈川ブランドへの登録を指導します。</p>		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			